

離島ならではの悩みも整備工場にお任せ



▲さび止めの塗装をすれば安心! ▲潮風でさびてしまった部品

車は、乗っているうちに車体や部品がどうしても傷んでしまう。だから、安全に長く乗り続けるためには、定期的な点検と修理が必要なんだ。そんなときに助けてくれるのが、自動車整備士さんたち！宮崎自動車整備工場のスタッフさんたちは、みんな笑顔でお客様を出迎えていたよ。

ステップ1
「これで安心！」
点検・整備



いまあるものを大切に使い、地球にもお財布にも優しいんだね！

そこで、宮崎自動車整備工場では、法律で決められた車の定期点検である「車検」以外のタイミングでも、自主的に点検を受けるよう、お客様におすすめてしている。また、新しい車を購入した方には、車にさび止めの塗装を施すことを積極的に提案しているんだって。宮崎専務は「塗装で潮風の悪影響を遅らせること」につながります。もちろん費用がかかっちゃいますが、傷んだ部品をほとんど交換するより、結果として負担が抑えられるケースが多いです」と教えてくれたよ。

お訪ねした会社
社名：有限会社 宮崎自動車整備工場
住所：長崎県南松浦郡
こちらに伺いました！

大切な自動車をずっと安全に

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

クルマのリサイクルの流れ

金属類は原材料にもしてさまざまな製品に使われます。残ったシュレッダーダスト（プラスチックやゴムなどは、ユーザーが支払ったリサイクル料金を使ってさらに原材料にもしたり、熱源として再利用されます。

天然資源の使用を少なくしたり、リサイクルのしやすさを意識した車がつくられています。

車を買うとき、リサイクル料金を支払います。

ユーザーは車を長く大切に乗り続けるため、中古車として乗り継ぎます。修理のときは、リサイクル部品を使うようにします。

ユーザーは使わなくなった車を引取業者に引きわたします。

ユーザーが支払ったリサイクル料金を使って、フロン類は回収して無害化されエアバッグ類は取りはずして処理されます。

残り車体などはシュレッダー機で破砕します。

クルマのほとんどをリサイクル!

ユーザーは使わなくなった車を引取業者に引きわたします。

見て・聞いて・学ぼう!

地球のために！未来のために！

クルマのリサイクル

機械とプロの目で隅々までチェック



▲診断士さんの目でチェック



▲最新技術で車の内部を診断

最近の車は、コンピューターで詳しく検査できるって知ってた？この日も車にノートパソコンを接続して、専用のソフトウェアでチェックすることで「車の内部で異常が起きていないか」そして「異常がある場合は「どの部分なのか」を確認していたよ。

もちろん、豊富な知識と経験を持つ人間の目で、厳しくチェックするのも大切！お客様の車を扱うときの心構えについて、自動車整備士さんは「車を「人」だと思って点検すれば、検査や修理が自然と丁寧になります」と言っていたよ。

ステップ2
「丸わかり!」
車の診断方法



次回は中古車のオークション編!

今回のまとめ

整備工場は「車のお医者さん」。日本全国の工場では、自動車整備士さんが車に乗る人たちの大切に思ってメンテナンスをしてくれているんだね。また、一台の車を長く安全に乗ることは、地球環境を保護するためにも大切なんだ。

ユーザーにとってのメリットも大きい!



▲分かりやすく説明してくれる宮崎専務

整備工場では車の部品を交換する際には、新品だけでなくリサイクル部品が用いられることもあるよ。乗らなくなった車からまだ使えるパーツを取り外してきれいにした「リユース部品」や、パーツの一部を新品に交換して再び組み立てた「リビルト部品」を使えば、ユーザーが負担する費用を安く抑えられ、また、ゴミを減らし、環境への負担を減らすことにもつながるんだ。

車が潮風を浴びやすいこの島では、部品の寿命が短くなって、どうしても交換

ステップ3
「地球とお財布に優しい!」
リサイクル部品



▲届いたリサイクル部品を丁寧に取り付けるよ

の頻度が高くなってしま。そこで宮崎自動車整備工場では、リサイクル部品への交換を提案すること多いんだって。リサイクル部品は新品の半額以下で入手できる場合もあるんだ。新品ではないので、不安を感じるお客様もいらっしゃるんですが、積極的に情報提供を行い、安心して選んでいただけるよう心がけています」と、宮崎専務が教えてくれたよ。

第6回 クルマのリサイクル作品コンクール 標語・ポスター大募集!!

応募締め切り 2023年2/28(火)必着

「クルマのリサイクル」について学んだことを標語・ポスターにして応募してみよう!!

vol.4

整備編